

2022年6月1日

『Quadrante クアドランテ』(第25号)用
原稿募集・投稿依頼のお願い

海外事情研究所所員各位

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年もまた『Quadrante クアドランテ』第25号を準備する時期になりました。昨年につき、例年通りの日程で出版できるよう進めてまいります。所員のみなさまの日頃の研究成果を示す場として、ご投稿をお待ちしております。

なお、所員の方のご推薦またはご承諾があれば、院生や外部の方も投稿していただけます。しかしながら、そのような投稿については、査読に回すまえに予備審査を実施することになっております。そして、第23号からは、推薦者の先生方に、予備審査に先立って投稿内容を確認していただくことになりました。原稿の提出が確認されましたら、こちらから推薦者にお問い合わせさせていただきます(なお、推薦の先生方からのご回答をいただけない場合、予備審査に回せませんのでご了承ください)。お手数ではありますが、ご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上は、より専門性の高い『クアドランテ』を維持・発行するための方策です。ご理解いただければ幸いです。

【種類と標準枚数】

1. 論文(原則として400字詰原稿用紙換算で80枚=32,000字以内)
2. 研究ノート、翻訳など(原則として同50枚=20,000字以内)
3. 学会展望、書評あるいは文献紹介など(原則として30枚=12,000字以内)
4. 院生による書評論文(原則として同40枚=16,000字以内)
5. 院生による新刊紹介(原則として4枚=1,600字以内)

編集作業は、以下のようなスケジュールで行います。3 ページ目の、編集規定、執筆要項をよくお読みください。

【投稿スケジュール】

1. 執筆申込締切日:2022年6月30日(木曜日)**(厳守)**
「執筆申込書」を6月30日までに海外事情研究所にご提出下さい。
紙媒体あるいはメールにても受け付けます。メール宛先: ifa@tufs.ac.jp
2. 原稿提出締切日:2022年9月30日(金曜日)**(厳守)**

【院生用書評論文について】

院生が執筆する書評論文は、修士論文や博士論文の執筆の際に必要な先行研究の批判的サーヴェイにあたるものです。論文の提出・査読・修正・再提出というサイクルをより円滑に進め、さらにより質を高めるために、指導教員にもご協力をお願いいたします。

指導教員もしくは推薦教員(ともに所員に限定)のみなさま

院生が書評論文・論文を出す前に、必ず目を通していただき、内容ならびに論文の書き方などを修正させてから 9 月 30 日(金曜日)に提出するようご指導ください。詳しくは、以下の注意事項をご参照ください。

【注意】

院生が書評論文・論文を書く場合には執筆内容を必ず指導教員もしくは推薦教員と相談し、執筆の許可もしくは推薦を受けてから申し込むようにしてください。執筆申込用紙には指導教員あるいは推薦教員名を記入してください。

9 月 30 日(金曜日)の原稿提出後、クアドランテ編集委員会による予備審査会を設けます。この予備審査に使用するために、投稿論稿にたいする簡単なフォームを用意しますので、ご記入をお願いします。その後の予備審査において、査読にまで至らないと判断された投稿につきましては、返却いたします。予備審査会を通過した投稿に関しましては、本人および指導教官にいったんお戻しし、第二次締め切りの 11 月 4 日(金曜日)までに指導教官の指導と提出許可を得たうえで、再提出をお願いいたします。この再提出原稿が査読に回されます。詳しくは、以下の【院生書評論文執筆スケジュール】をご参照ください。

学生がよりよい論文を仕上げられるよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【論文等執筆スケジュール】

1. 完全原稿提出締切(9 月 30 日、金曜日)
2. 予備審査
3. 予備審査結果通知(10 月中旬)
4. 査読
5. 査読結果通知(11 月上～中旬)
6. 査読後修正校提出(12 月中)
7. 校正・修正
8. 最終稿提出(2023 年 1 月上旬、冬休み明け)

【院生書評論文等執筆スケジュール】

1. 完全原稿提出締切(9 月 30 日、金曜日)
2. 予備審査
3. 書き直し 指導教官の指導
4. 再提出最終締切(11 月 4 日、金曜日)
5. 査読
6. 査読結果通知(11 月下旬、文化祭明け)
7. 修正期間
8. 再再提出 冬休み前(12 月下旬)
9. 再査読
10. 再査読通知(冬休み明け)
11. 校正等
12. 最終稿提出(2023 年 1 月末)

「執筆申込書」に必要事項を記入した申込書を 6 月 30 日までにご提出下さい。何とぞ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【編集規定】

1. 『Quadrante クアドランテ』は、東京外国語大学海外事情研究所の研究活動の成果を発表するために、同研究所の責任において編集・発行される。本誌掲載の論考は東京外国語大学によって電子化・公開される。本誌に掲載される全ての著作物の著作権は著作者が有し、著作物はクリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY 4.0) 下に提供される。
2. 『Quadrante クアドランテ』は、原則として各年度に 1 号を発刊する。
3. 海外事情研究所は、『Quadrante クアドランテ』の発行のために編集委員会を置く。編集委員会は所長、所長代理、編集幹事および若干の所員より構成される。
4. 編集委員会は、同研究所の所員ならびに研究所の研究活動に積極的に参画した者、および必要に応じて外部の者に寄稿を求めることができる。
5. 『Quadrante クアドランテ』に掲載される論文等については、編集委員会の責任において査読者を選定し査読審査をおこなう。
6. その他編集上の細則については、編集委員会が適宜これを定める。

【執筆要項】

1. ワードを使用
2. 本文は MS 明朝全角 10.5pt.
英文・ローマ字等はすべて Times New Roman 10.5pt.
ダッシュ、矢印等の記号はすべて MS 明朝全角 10.5pt.
3. タイトルは MS 明朝全角/ Times New Roman 16pt. 太字
サブタイトルは MS 明朝全角/ Times New Roman 14pt. 太字
氏名は MS 明朝全角/ Times New Roman 12pt. 太字
4. 本文、注とも 1 段で作成
5. 註は脚注とする。脚注も MS 明朝全角/ Times New Roman 9pt.
6. 氏名、ふり仮名、ローマ字表記を本文の最後に記載すること
7. 英文タイトルも同じく本文最後に記載すること
8. 図表・グラフは最後にまとめて付すこと
9. 註の付け方
*日本社会学会による『社会学評論スタイルガイド』を参考にしてください。
WEB で入手可能です。(http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php)

